



館内おはなし会のご案内

よみきかせを中心に、たのしいおはなしのせかいにおきがるにどうぞ
スタンプカードもあります。

おはすい
おはなし水曜日
毎週水曜日 4じ～
絵本よみかせなど
第3水曜日は
昔語りの日

おはどん
おはなし土曜日
毎週土曜日 3じ～
絵本のよみかせ
を中心に

おはちび
おはなしちび曜日
第2日曜日 第4水曜日
ごぜん 11じ～
0.1.2才向け
わらべうた・手あそび
ふしありあそび 絵本など

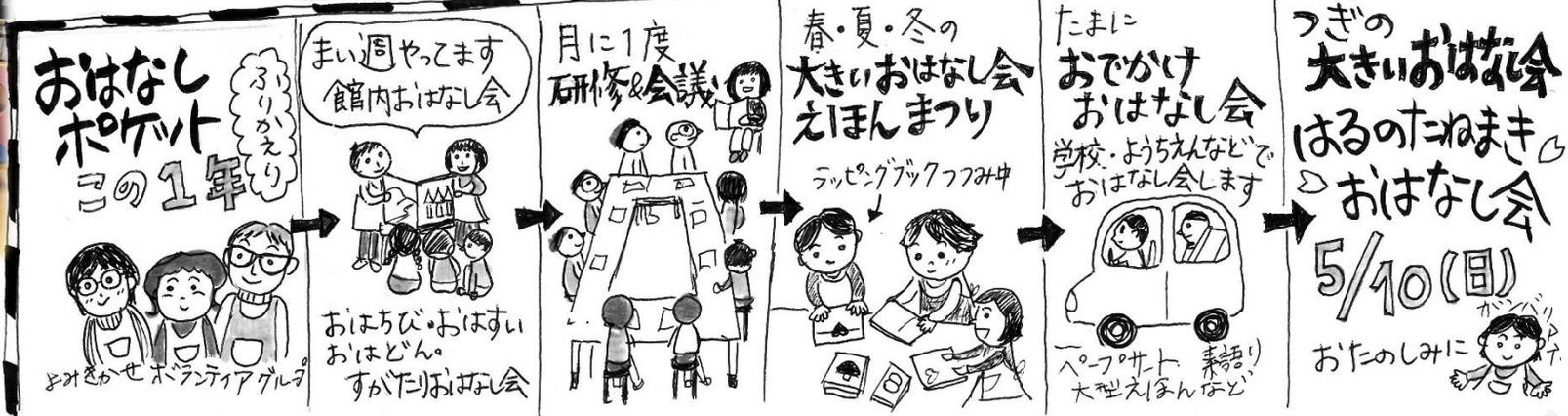
すがやりのおはなし
第5土曜日
絵本や道具をつかわない
語りの会です
物語が頭の中は
たがります

開館時間 2月・平日 9:30-18:00 土祝 9:30-17:00 休館日 月曜日 ※1/2～11 (ばく書のため)
3月・平日 9:30-19:00 休館日 月曜日 ※1/2～11 (ばく書のため)
※月曜日祝日のとき 翌火曜日 お休みです

冬のえほんまつり
がおわりました
12月2日～25日にひらかれました
冬のえほんまつり。おはなし会や
ラッセングブックなど、たくさんのおもたせ
がおはなしのせかいをたのしんで
くれました

2/2(月)～11(水)まで
『ばくしよ』のため
この期間、図書館は **おやすみ** です
(館内おはなし会もおやすみ)
凡ばくしよ(曝書)とは
図書館にある本を「せんぷ」
点検などすることです。図書館
本館だけでも、約21万冊もの
本があります。

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕		⊕		4じ ⊕ おは水			3じ ⊕ おはどん
			← ばくしよ 期間 →				8	9	10	11	12	13	14
8	9	10	11	12	13	14	11じ ⊕ おはちび	⊕		4じ ⊕ おは水			3じ ⊕ おはどん
			← ばくしよ 期間 →				15	16	17	18	19	20	21
15	16	17	4じ ⊕ 昔語り	19	20	21	⊕	⊕	⊕	4じ ⊕ 昔語り		春分の日	3じ ⊕ おはどん
	⊕					3じ ⊕ おはどん	22	23	24	25	26	27	28
22	23	24	11じ ⊕ おはちび	26	27	28	⊕	⊕	⊕	11じ ⊕ おはちび			3じ ⊕ おはどん
	天皇誕生日	⊕	4じ ⊕ おは水			3じ ⊕ おはどん	29	30	31	4/1	2	3	4
								⊕		4じ ⊕ おはすい			



お問い合わせなどは
鶴岡市立図書館
TEL (0235)25-2525



まだまだ、寒い日々ですが、少しずつ日が長くなってきました。夕方に帰りを急かされるような日々から、少しゆったりとした気持ちで、春の気配を感じる事ができるようになります。

今回紹介する絵本は、『はたけの絵本』（いわむらかずお作 創元社 2022年刊）です。絵本というよりも、詩画集という感じででしょうか。

見開きのページが12。1月から12月まで、絵と詩で構成されています。例えば1月「だいこんと のうさぎ」は、冬の畑に取り残されただいこんと、ぴよんとやってきた、のうさぎの詩です。例えば7月「きゅうりと かまきり」は、うりふたつのきゅうりと、うりふたつのかまきり二匹の詩です。そして2月の「あずきと てんとうむし」は、農家の納屋で、夏の日を夢を見て、春までねむる、あずきとてんとうむしの詩です。

どの月のどの詩も、畑のことをよく知っていて、日々の暮らしの中で畑のことをよく知っている作者の目を感じます。そして、そこで暮らす生きものたち。時には、作物を食べてしまったり、畑を荒らしてしまう生き物たちに対する、優しい作者の目を感じます。

作者のいわむらかずおさんは、ネズミの家族を描いた「14ひき」のシリーズや、おさるの「タンタン」、それから哲学的なカエル「かんがえるカエル」のシリーズの作者です。

いわむらさんは、一昨年12月に惜しまれながらお亡くなりになりましたが、たくさん作品と共に、「いわむらかずお絵本の丘美術館」でその功績を知ることができます。

20年以上前ででしょうか、鶴岡で開催されたいわむらかずおさんの講演会でお聞きした話ですが、「絵本に描かれている生きものは、私の暮らしの中で、本当に身近にいます。でも、本当のねずみには会いたくないと言う読者の方が、多いんですね。」と笑っておられました。

今回紹介した絵本は、その美術館の広大な敷地にあるたくさんの畑と、そこに暮らす生きものたちの絵本です。表紙のきつねをかわいいと思えるかどうかは、読み手次第でしょうか。



『はたけの絵本』
いわむら かずお 作
創元社 2022年刊

ポケットの穴 から こぼれた話

先日、図書館で「くまのコールテンくん(ドン・フリーマン作)」という絵本を読みました。女の子がクマのぬいぐるみのコールテンくんと出会うおはなしです。デパートのおもちゃ売り場でコールテンくんを見つけた女の子は、とても気に入って、貯金をはたいてコールテンくんをうちに連れてきます。コールテンくんはズボンのつりひものボタンがとれています。

「あたし、あなたのことこのままでも好きだけど、ひもがずりおちてくるのは気持ち悪いでしょ」といってつけなおしてくれます。

このセリフを読むとき、「女の子は、コールテンくんのことがほんとうに大好きなんだな。まるごと受け入れて優しいな」という気持ちになります。

また、「さかなはさかな(レオ=レオニ作)」という絵本があります。ともだちのかえる君から水の外のすばらしい世界の話が聞かされたさかな君が、ある日決心して「なにがおころうとも、僕も世の中を見てやるんだ」と言って、岸に飛び上がります。

ここを読むとき、自分も勇気を出して新しい世界に飛び込んでみたい、何が起ころうとも一歩踏み出してみようじゃないか、という気持ちに一瞬なります。

絵本は子どもが読むものと思われがちですが、仕事や生活に疲れた大人にこそ必要なかもしれません。多くの方が自分のお気に入りの一冊に出会って、美しい絵やストーリーの世界に癒されてほしいと思います。

ポケットメンバーの おすすめ作家紹介

こどもの本の編集者を経て、絵本作家になる
世界中でいつの時代ももっとも愛されてきた作家のひとり

『ぼくにげちゃうよ』

絵クレメント・ハード
訳岩田みみ ほるぷ出版
1976

子うさぎと母うさぎが追いかけてくるおはなし。「ぼく、逃げちゃうよ」と子うさぎが言うと、「おまえが逃げたら追いかけてよ」と答えます。「母さんが追いかけてきた…」と子うさぎは母うさぎから逃げようとしています。親子のかけあいにほのぼのする絵本です。

『ぼくはあるいた まっすぐ まっすぐ』

絵林明子 訳坪井郁美
ぺんぎん社 1984

おばあちゃんの家に行くことになった「ぼく」。電話で教えてもらったように「まっすぐ まっすぐ」田舎道で「はじめて」に出会いながら歩き続けます。林明子が描く柔らかな田舎町の風景と表情豊かな「ぼく」が魅力的です。

『ワイズ・ブラウンの 詩の絵本』

絵レナード・ワイズガード
訳木坂涼 フレーベル館 2018

1959年の初版から世界中で読み継がれる名作。生きとし生けるものへのブラウンが向けるやさしい眼差しに満ちた詩。日本語訳はともシンプルで素敵。擬音がたくさん使われますが、原文でどのように表現しているのか気になります。大人向けの絵本です。